

高田援護室長の模型部屋(第20回)

皆さん、こんにちは。梅雨どころかすっかり夏！体調を崩したりしてませんか？私は3月から健康のため、ランニングを継続しています。1日10kmまたは1時間以上のランニングに心がけてます。それまでは週末ランニングだったのですが、なかなか効果が現れない(痩せない)ので、実施要領を強化しました。自衛官たるもの、最低限の体力と健康な体を維持したいものです。プラモにも体力が必要です。長時間の同じ部品の組み立てや、フィギュアの迷彩塗装、気が遠くなるような数のエッチングパーツ等々…もはや忍耐力との勝負です(笑)

そういえば先日、娘達に「お父さんの財産ってプラモしかないんだから、どれが最高傑作なのか一応教えておいてね。それ以外は捨てるから！」って、確かに私の遺品はプラモしかないけれど、そう言われるとなんか複雑です(泣)

さて今回は、残してもらえる遺品になるかもしれないプラモの中から…

10式戦車(ドーザー装着型)です。



アキバに行った時に、「10式戦車ドーザ装着型解像キット」を見かけ、その値段8800円に躊躇しましたが、74式、90式のドーザ装着型を作ってきた私にとってはやはり作らなければ！と使命感が勝ってしまい、即購入してしまいました。

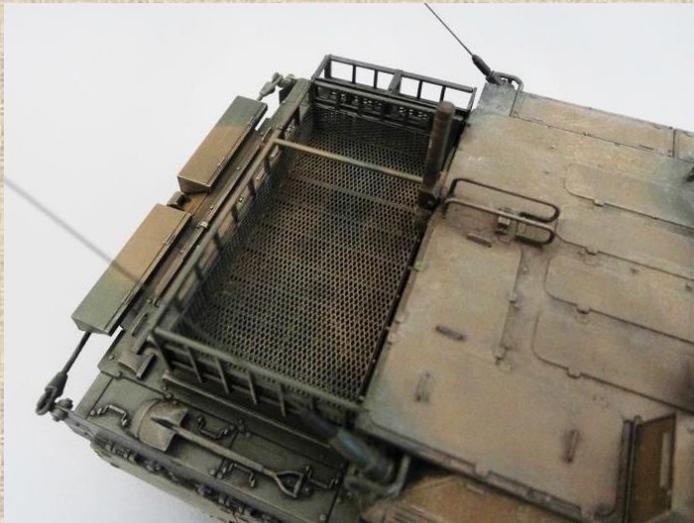
戦車本体より高いドーザ部品(笑)が我が家の防衛費を直撃！それだけに慎重に、丁寧に作らなければ…と慎重かつ時間をかけて丁寧に作れば、娘達が「ふーん、私たちよりプラモなんだ！」と訳の分からない理論を振りかざし邪魔をしてくれます。その都度娘達の相手をしたのでなかなか進捗しませんでした。しかし、約1ヶ月で完成。この充実感最高！10式ドーザ戦車は全国で数両しか配備されておらず、今回はその中の1両、第2戦車連隊の車両を作成しました。



ドーザー戦車は、以前90式戦車や74式戦車の時にも紹介しましたが、応急的な陣地構築のほか、地雷原処理後の凹凸地の整地、瓦礫の処理等に使用します。でも、一番使用されるのは間違いなく除雪です。(笑) 積雪地の戦車部隊には必要不可欠な装備品です。



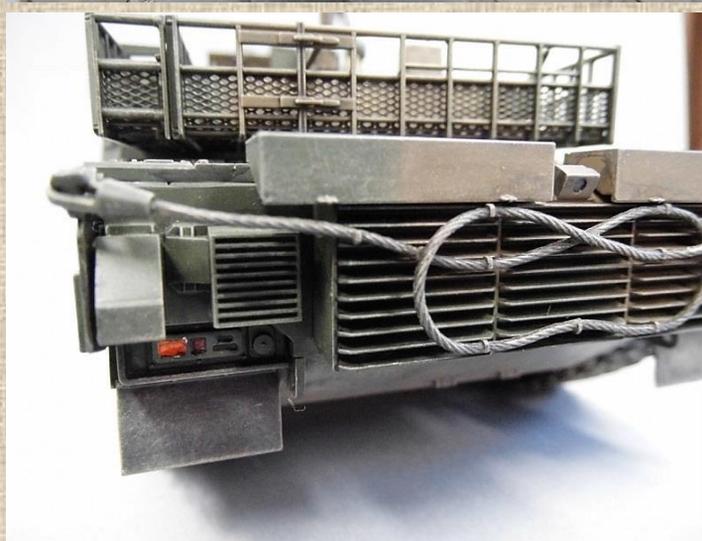
取り付けがなかなか難しく、少し車体との整合が図れなかったため、若干ドーザブレードの角度が実車と異なってしまいました。でも、えい！やあ！とお！で取り付けました。武士の情けです。アラを探してはいけません。あ、こんなところに操縦用カメラが付いているんだ。分かりますか？中央にレンズの穴が…



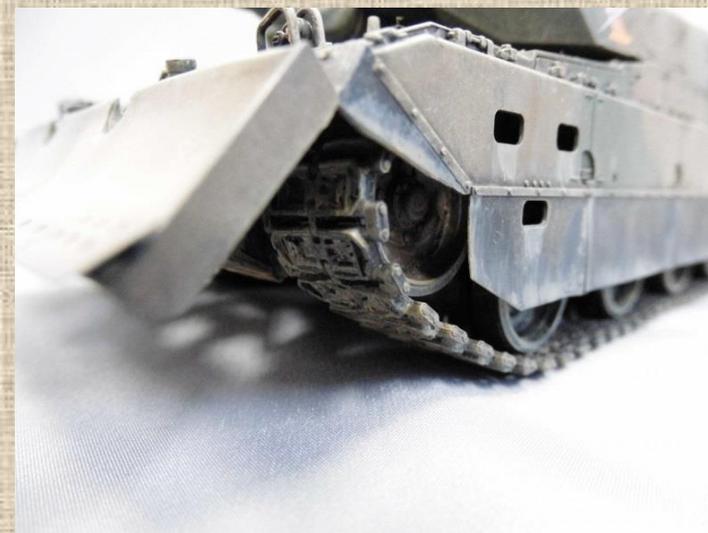
本改造キットについているエッチングメッシュはそれぞれのバスケットのパーツに整合されているので、取り付けが楽です。タミヤのキット付属のナイロンメッシュは目が正方形で、実車の菱形と異なります。



塗装はGSIクレオスの自衛隊戦車色セットを使用しています。サファイサーを吹き付け、濃緑色を吹き付け、茶色で境界線を筆塗りし、茶色を吹き付けました。デカール貼り付け後、つや消しトップコートを吹き付けてデカールと塗装面を均一化し、スミ入れしました。



12.7mm重機関銃と砲塔周りの機関銃レール、牽引ワイヤーはメタルカラーのダークアイアンを使用し、塗装後綿棒で擦ることで見事な金属感が出ます。鉛筆芯の粉を擦り付けるのもよいですが、私の最近の流行です。



サイドスカートやフェンダーのゴムは、タイヤブラックだとグレーが強いので、フラットブラックとセミグロスブラックを混色して使いました。転輪ゴムはフラットブラックにしました。でも、ウェザリングしたら一緒でした(笑)



ペリスコープのガラス部には透明プラ板を使用するのですが、ドーザキットに封入されている偏光ガラスシートは実車でもあまり分からないので内側をブラック塗装のみにしています。



車体の泥はピグメントとウェザリングスティックです。ピグメントを車体下部に塗ったり盛ったりした後に、その周辺にスティックをこすり付けた後、濡れ綿棒で拭き取ったり、伸ばします。全体的に埃が付着した感じになったのでは？と思っています。風雨で上から下に流れたように表現しました。

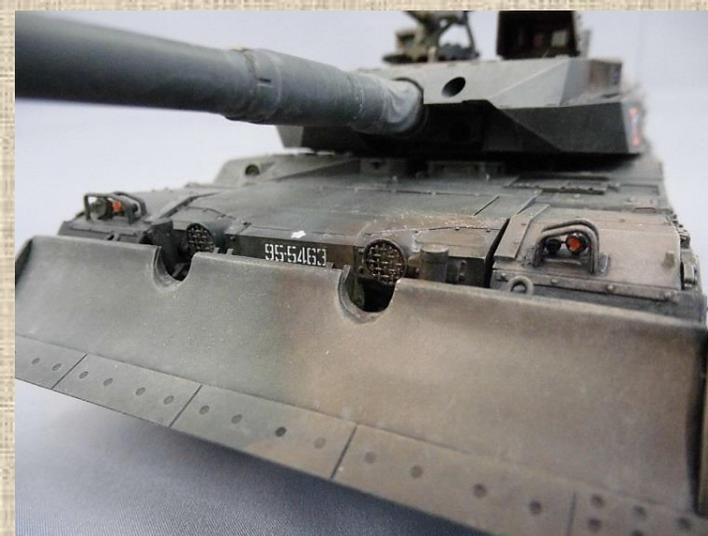


ハッチ類の取っ手は板状になっているので、削り取って0.3mm真鍮線で作りました。そんなに数が多くないので、ぜひチャレンジしてみてください。

また、砲手用ハッチの裏ディテールが省略されているので、実車写真等を参考に、それらしく作りました。10戦車だけは実車に乗ったことがないので…残念です。乗ってみたかったな…



戦車乗員はタミヤのキットを使用。迷彩色のベースは日本海軍機コックピット色(中島系)を使用しました。その上にロシアングリーン、レッドブラウン、フラットブラックでひたすら忍耐との戦いで迷彩パターンを塗りました。拡大鏡を使用して可能な限り細かいドット迷彩を再現したのですが、うまく行きません。どうしてもパターンが大きくなっていきます。人相が悪くなってしまいました。実際の隊員は良い方ばかりですよ(笑)



ライトはWAVE社の透明レンズを使用しました。メッシュを付けたらほぼ見えない(泣)透明部品用接着剤で止めました。レンズ部品は意外にサイズが合わなくて苦労しました。



通常型の10式戦車と並べると。ライト周りやフロントゴムフェンダーの形状等、その差が分かります。同じ戦車でも仕様が変わるだけでもずいぶん印象が変わります。



陸上自衛隊ドーザー戦車3兄弟(笑)



90式、10式、74式
それぞれのドーザー戦車

高速道路の除雪で
こんなシーンを見たような・・・



ドーザー戦車を地上からの目線から見ると、模型とはいえ迫力が。ドーザー戦車は、なぜか強そうに見えるんですね。



私の好きな砲塔を横に向けたアングルです。戦車って本当にカッコイイですね！

「奥の台戦車！砲手、徹甲撃て！命中！！目標変換、右の森、敵装甲車、対榴撃て！命中！！操縦手、速度増せ！！」

つい血が熱くなります！そしていつものように横で娘達が涼しい眼で私を見ている…

さて、今回はここまで。今回のキットも総額の値段が高かったので長々と紹介してしまいました(笑)ではまたお付き合いくださいね！